

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	04	安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	01	交通安全
事務事業名		04	交通安全施設整備事業
根拠法令・例規等		道路法・道路構造令	
問		担当課(室)	都市整備課
合		職・氏名	土木係長 尾野田瑞穂
先		電話	0869-64-1835
		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市道を通行する歩行者・自転車・二輪車・自動車
目的(何のために)	市道における交通事故の減少、重大事故の軽減を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市管理の道路における交通事故件数を減少させる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	交通安全施設整備事業	ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の新設や更新を行なう。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		5,997	8,995	17,646	
	必要人員(人件費)	千円	0.14人	890	0.14人	884
	事業費		6,887	9,879	18,470	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他( )					
一般財源		6,887	9,879	18,470		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
事業費100万円当たりの人件費	説明	人件費/事業費(百万円)				
結果指標量	円		890,000	884,000	824,000	
対前年比	%		-	99.3%	93.2%	
活動コスト	円		6,887,000	9,879,000	18,470,000	
単位当たりコスト	円		129.229	89.483	44.613	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	98	98	98	98
		実績値(B)	93.3	98.2	76.4	到達目標値
事故件数の減少率	達成率(B/A)	95.20%	100.20%	77.96%	平成28年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市の管理する道路で発生した事故件数						

(平成22年度事業)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価<A~E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価<A~E> <b>B</b>

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	地元要望が多い事業であるため、危険性の高い箇所から交通安全施設整備を行っていく。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
地元要望が多く、必要とされている事業である。事業実施により事故防止が図られていると考えられるため、今後も危険性の高いところから実施していく必要のある事業である。	評価区分<A~E>	<b>A</b>	有効性 効率性

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	地元要望が多い事業であるため、危険性の高いところから事業を進めていく。					